

# 第11回 諸外国における対日メディア世論調査 調査結果

新聞通信事業に関する調査研究、資料収集、講演会の開催などを行っている公益財団法人新聞通信調査会（理事長 西沢豊）は、2024年11月～12月に「諸外国における対日メディア世論調査」を実施、その結果を15日発表しました。

調査は、米国、英国、フランス、韓国、タイ、ロシア、インドの7カ国において、各国約1,000人の回答を得ました。米国は電話調査とWEB調査の併用、英国、フランス、韓国、ロシアは電話調査、タイ、インドは面接調査で行いました。「対日メディア世論調査」は2015年から年1回、米国、英国、フランス、韓国、タイ、中国の6カ国で行っていましたが、昨年度から中国での調査ができなくなりました。今年度は新たにロシアとインドでも調査を行いました。主な調査結果は以下の通りです。

## ロシア、今後10年で「核使われる」が7割

・核兵器は、広島・長崎で使われたのを最後に80年間使用されていないが、今後10年の間に、再び使用されると思うか尋ねたところ、ロシアでは「使用されると思う」が69.2%で「使用されないと思う」の26.3%を43%上回った。英国、タイでは「使用されると思う」「使用されないと思う」がともに40%台で意見が拮抗した。「使用されないと思う」は、韓国（53.6%）、米国（52.5%）、フランス（52.5%）で5割を上回った。（資料編1巻 図表1）

・核兵器については、「廃絶すべき」がタイで50.3%と最も多く、韓国（45.8%）、フランス（45.3%）、米国（44.7%）、英国（43.6%）、インド（41.6%）の6カ国では、「核保有はやむを得ない」の割合を上回った。一方、ロシアでは「核保有はやむを得ない」が65.8%で「廃絶すべき」の27.8%を38%上回った。（資料編1巻 図表2）

2025年2月15日  
公益財団法人 新聞通信調査会

## 被団協のノーベル平和賞、米国で8割が「知らない」

・2024年のノーベル平和賞が被団協（日本原水爆被害者団体協議会）に授与されたことを知っているか尋ねたところ、「ノーベル平和賞は知っているが、被団協が受賞したことは知らない」を挙げた人の割合が米国（80.7%）、英国（73.3%）、ロシア（65.1%）、韓国（65.0%）、フランス（55.8%）で半数以上だった。

・タイとインドは「ノーベル平和賞という賞自体知らない」が42.5%（タイ）、38.7%（インド）と最も多かった。次いで「ノーベル平和賞は知っているが、被団協が受賞したことは知らない」が41.8%（タイ）、19.4%（インド）だった。

・「被団協が受賞したことは知っているが、その活動内容はよく知らない」は、フランス（26.6%）、ロシア（21.9%）、韓国（20.9%）で20%台だった。

・「被団協が受賞したこともその活動内容（受賞理由）も知っている」は、7カ国すべてで10%に満たなかった。（資料編2巻 図表3）

## 世界の課題は「戦争終結」—6カ国で1位

・最近の世界情勢を踏まえて、世界各国で連携して取り組むべき課題は何か尋ねたところ、「戦争や地域紛争の終結・抑止」はインドを除く6カ国で1位だった。昨年も1位の米国、英国、韓国、タイに加えフランスも2位から1位に上昇。インドでは「国際テロ組織の撲滅」が1位（2つまで複数回答）。

・2位には米国で「国際テロ組織の撲滅」、英国、フランス、韓国は「地球環境問題」、タイ、ロシア、インドは「核兵器拡散の抑制」。

・昨年7月に新聞通信調査会が実施した「メディアに関する全国世論調査」では、1位「戦争や地域紛争の終結・抑止」、2位「地球環境問題」。（資料編3巻 図表4）

## 韓国の対日好感度、今回は微減

・日本に対する好感度はタイ93.1%、米国87.8%、英国81.4%、フランス80.0%。前回と比べると、英国は10.3ポイント、米国は7.4ポイントの上昇。ロシアは69.0%、インドは59.2%、韓国は過去最高の前回より3.4ポイント低下して40.6%。

・各国の好感度が高い上位3位は、米国が日本、自国、英国、英国が日本、自国、タイ、フランスが自国、日本、英国、韓国が自国、米国、英国、タイが自国、日本、英国、ロシアが自国、中国、インド、インドが自国、米国、日本。

・前回からの変化を見ると、日本、中国、韓国に対する好感度は米国と英国で5ポイント以上の上昇。英国は、フランス、タイに対しても5ポイント以上の上昇。米国に対する好感度はフランスで12.0ポイントの低下。韓国では英国、フランス、タイに対する好感度が5ポイント以上の低下。（資料編4巻 図表5）

## 日本についての報道、「科学技術」に期待

・日本のことが報道されると関心を持って見聞きするのは、タイで 81.6%と最も高く、次いで韓国で 68.1%。以下、ロシア 61.1%、米国 55.9%、フランス 52.7%、英国 33.8%、インド 26.2%。韓国では第 9 回、第 10 回調査と上昇を続けていたが、今回調査では 10 割低下した。(資料編 5 頁 図表 6)

・日本に関する報道で、メディアに期待する内容を挙げてもらった。1 位はタイを除く 6 カ国で「科学技術」、タイは「観光情報」。2 位には、米国、フランス、インドは「国際協力や平和維持活動」、英国は「生活様式や食文化」、韓国は「政治、経済、外交政策」、タイは「科学技術」、ロシアは「観光情報」が続いた。(資料編 5 頁 図表 7)

## 新聞の情報信頼度ータイ、米国、フランス、英国で低下傾向

・新聞の情報をどの程度信頼しているかを、全面的に信頼している場合は 100 点、全く信頼をしていない場合は 0 点、普通の場合は 50 点として点数をつけてもらったところ、タイが 60.5 点で 1.2 点の低下、米国が 53.8 点で 1.1 点の低下、フランスが 53.4 点で 2.3 点の低下、韓国が 52.7 点で 0.8 点の上昇、英国が 44.4 点で 1.7 点の低下だった。今回新たに調査したインドは 66.9 点、ロシアは 46.9 点だった。昨年 7 月に新聞通信調査会が実施した「メディアに関する全国世論調査」では、新聞の情報信頼度は 65.9 点だった。(資料編 6 頁 図表 8)

・インターネットのニュースを見る時に、ニュースの出所を気にするか尋ねたところ、「気にする」(「いつも気にする」と「まあ気にする」の合計)と答えた人は、フランスが 86.7%で最も多く、次いで米国で 85.4%、タイで 84.5%。以下、英国 (70.3%)、韓国 (67.2%)、ロシア (58.3%) だった。そのうち、「いつも気にする」のはフランスが 64.3%で最も多く、次いで米国が 49.3%、英国が 43.3%。インドでは「気にする」の割合が 44.7%にとどまった。昨年 7 月に新聞通信調査会が実施した「メディアに関する全国世論調査」では、「気にする」と答えた人が 45.9%、そのうち「いつも気にする」のは 12.5%だった。(資料編 6 頁 図表 9)

## 新聞は「電子版で」引き続き増加

・新聞を紙、電子版のどちらで読むかについては、インドを除く 6 カ国で「電子版のみ」が「紙のみ」や「両方」よりも多かった。インドは、「紙のみ」が 56.8%と過半数を占めた。(資料編 7 頁 図表 10)

・ニュース視聴の利用媒体は、米国、韓国はインターネットのニュースサイト、英国、フランス、インドはテレビ、タイ、ロシアは SNS (Facebook、X など) が 1 位 (複数回答)。米国、韓国、タイ、ロシアはテレビ、英国、フランスは新聞、インドは SNS が 2 位。(資料編 7 頁 図表 11)

## 知っている日本人、米国「オノ・ヨーコ」、英国、フランス「昭和天皇」、ロシア「宮崎駿」、韓国「安倍晋三」、タイ「金城武」、インド「石破茂」が1位

・知っている日本人の名前を1人挙げてもらったところ、米国は「オノ・ヨーコ」、英国、フランスは「昭和天皇」、ロシアは「宮崎駿」、韓国は「安倍晋三」、タイは「金城武」、インドは「石破茂」が1位。

・2位には「昭和天皇」(米国)、「オノ・ヨーコ」(英国)、「宮崎駿」(フランス)、「村上春樹」(ロシア)、「伊藤博文」(韓国)、「深田恭子」(タイ)、「安倍晋三」「宮崎駿」(インド)。(資料編8 図表12)

## ロシア調査機関からの追加資料

今回調査を委託したロシアの調査機関は、本調査に関連してロシア人の意識をより詳しく調べるために、ロシアと関係が深い国々への好感度と核兵器使用について独自質問を行いました。私どもに提供された調査結果と見解について紹介します。

### 1) 核兵器使用の正当化

(%)

	仮に、NATO 加盟国がウクライナ側について戦争に参加した場合、ロシアが核兵器を使用することを正当化できると思いますか。	もしロシアが NATO 加盟国に侵攻した場合、NATO 加盟国がロシアに対して核兵器を使用することは正当化できると思いますか。
1 正当化できる	52.1	22.4
2 正当化できない	32.4	52.7
3 NATO 加盟国はすでにロシアと交戦中である	1.0	
4 答えるのは難しい	12.1	21.5
5 回答拒否	2.4	3.3

NATO 加盟国がウクライナ側について戦争に参加した場合、ロシアが核兵器を使用することを「正当化できる」と回答した人が5割強。一方、NATO 加盟国がロシアに対して核兵器を使用することは「正当化できない」と回答した人が5割強。

この結果について、現地調査機関は「核兵器の使用は、広島・長崎への原爆投下以降、事実上タブーであり、最近までは、ロシアでも核兵器の使用は強く拒絶されてきた。しかし、長引くウクライナ情勢のもとで、ロシア国内でも核兵器は受容され、避けられないものであるという認識が広がっているのではないか」と指摘している。

### 2) 各国に対する好感度（共通質問 10 カ国に加え、ウクライナ、トルコ、イラン、北朝鮮を追加）

(%)

	ウクライナ	トルコ	イラン	北朝鮮	韓国
好感がもてる（計）	29.7	61.9	53.5	62.6	64.1

〈年代別〉



ウクライナに好感が持てるとした人は3割弱、トルコ、イラン、北朝鮮に好感が持てるとした人は半数以上だった。

興味深いのは、韓国と北朝鮮に対する好感度である。全体で見ると、韓国 64.1%、北朝鮮 62.6%だが、若い人で韓国を支持する人が多く、北朝鮮を支持する人は少ない。

	北朝鮮	韓国
10代	43.6	69.2
20代	49.6	79.3
30代	59.7	72.4
40代	62.4	67.8
50代	69.1	61.2
60代	68.5	41.9
70歳以上	79.3	43.7

## 調査の概要

### ●調査国と調査日程、調査方法、調査会社、調査地域

調査国	調査日程	調査方法	調査会社	調査地域
米国	12月6日～12月9日	電話調査 WEB調査 併用	SSRS	全国
英国	12月4日～12月11日	電話調査	IPSOS UK	全国
フランス	11月18日～11月30日	電話調査	CSA	全国
韓国	12月2日～12月10日	電話調査	Gallup Korea	全国
タイ	11月18日～12月19日	面接調査	IPSOS Thailand	バンコク、チェンマイ、 ウドンターニー、 ソクララー
ロシア	12月12日～12月20日	電話調査	ExtremeScan	全国
インド	11月26日～12月10日	面接調査	IPSOS UK	全国

※電話調査では、複数回答の質問において、回答に偏りが出ないように、選択肢の読み上げ順をランダムにした。

### ●回収サンプルの構成

米国	男性	481	47.3%	韓国	男性	503	50.2%
	女性	536	52.7%		女性	498	49.8%
	10代(19歳)	6	0.6%		10代(19歳)	16	1.6%
	20歳代	119	11.7%		20歳代	118	11.8%
	30歳代	199	19.6%		30歳代	145	14.5%
	40歳代	180	17.7%		40歳代	170	17.0%
	50歳代	173	17.0%		50歳代	245	24.5%
	60歳代	183	18.0%		60歳代	180	18.0%
	70歳以上(70-95歳)	157	15.4%		70歳以上(70-80歳)	127	12.7%
合計	1,017	100.0%	合計	1,001	100.0%		
英国	男性	503	50.7%	タイ	男性	500	50.0%
	女性	489	49.3%		女性	500	50.0%
	10代(16-19歳)	25	2.5%		10代(18-19歳)	40	4.0%
	20歳代	143	14.4%		20歳代	240	24.0%
	30歳代	145	14.6%		30歳代	232	23.2%
	40歳代	125	12.6%		40歳代	258	25.8%
	50歳代	185	18.6%		50歳代	192	19.2%
	60歳代	189	19.1%		60歳代	34	3.4%
	70歳以上(70-96歳)	180	18.1%		70歳以上(70-75歳)	4	0.4%
合計	992	100.0%	合計	1,000	100.0%		
フランス	男性	509	50.9%	インド	男性	559	51.8%
	女性	491	49.1%		女性	521	48.2%
	10代(18-19歳)	28	2.8%		10代(18-19歳)	66	6.1%
	20歳代	110	11.0%		20歳代	288	26.7%
	30歳代	219	21.9%		30歳代	267	24.7%
	40歳代	161	16.1%		40歳代	218	20.2%
	50歳代	165	16.5%		50歳代	108	10.0%
	60歳代	142	14.2%		60歳代	108	10.0%
	70歳以上(70-94歳)	175	17.5%		70歳以上(70-82歳)	25	2.3%
合計	1,000	100.0%	合計	1,080	100.0%		
ロシア	男性	617	61.5%				
	女性	386	38.5%				
	10代(18-19歳)	39	3.9%				
	20歳代	135	13.5%				
	30歳代	221	22.0%				
	40歳代	245	24.4%				
	50歳代	152	15.2%				
	60歳代	124	12.4%				
	70歳以上(70-90歳)	87	8.7%				
合計	1,003	100.0%					

●質問一覧

質問	選択肢
問 1. 日本人で知っている人の名前を1人挙げてください。現在、存命中か否かは問いません。	
問 2. あなたは、次の国々についてどう思っていますか。(回答はそれぞれ1つずつ) (1)米国 (2)英国 (3)フランス (4)ロシア (5)日本 (6)中国 (7)韓国 (8)タイ (9)インド (10)ブラジル	1 とても好感が持てる 2 やや好感が持てる 3 あまり好感が持てない 4 全く好感が持てない
問 3. あなたは、日本のことが報道されると関心を持って見聞きますか。(回答は1つ)	1 とても関心がある 2 やや関心がある 3 あまり関心がない 4 全く関心がない
問 4. あなたは、次のことがらを自国のメディアが積極的に報道してほしいと思いますか。(回答はそれぞれ1つずつ) (1) 日本の政治、経済、外交政策 (2) 日本の国際協力や平和維持活動 (3) 日本の科学技術 (4) 日本の歴史と文化 (5) 日本の生活様式や食文化 (6) 日本のファッション、アニメ、音楽 (7) 日本の観光情報	1 積極的に報道してほしい 2 報道してほしい 3 あまり報道しなくてもよい 4 報道しなくてもよい
問 5. あなたは、ふだんニュースをどの媒体で視聴していますか。あてはまるものをすべてお答えください。(回答はいくつでも)	1 新聞(紙面) 2 新聞(電子版、オンライン) 3 テレビ 4 ラジオ 5 インターネットのニュースサイト 6 SNS (Facebook、X (旧 twitter) など) 7 雑誌
問 6. あなたは、インターネットのニュースを見る時に、ニュースの出所(報道機関名などの配信元)を気にしますか。(回答は1つ)	1 いつも気にする 2 まあ気にする 3 あまり気にしない 4 全く気にしない
問 7. 現在のあなたの日常生活において、新聞の情報をどの程度信頼しているか、点数でお答えください。全面的に信頼している場合は100点、全く信頼していない場合は0点とし、普通の場合を50点としてお答えください。「新聞を読まない」あるいは「分からない」場合でも、大体の感じでお答えください。	<p>0点 10 20 30 40 50点 60 70 80 90 100点</p>
問 8. 最近の世界情勢を踏まえて、世界各国で連携して取り組むべき課題は何だと考えますか。(回答は2つまで)	1 戦争や地域紛争の終結・抑止 2 核兵器拡散の抑制 3 国際テロ組織の撲滅 4 各国間の経済格差の縮小 5 感染症拡大の抑制 6 地球環境問題
問 9. 2024年のノーベル平和賞は被団協(日本原水爆被害者団体協議会)に授与されました。このことについて、あなたは次のどれに該当しますか。(回答は1つ)	1 ノーベル平和賞という賞自体知らない 2 ノーベル平和賞は知っているが、被団協が受賞したことは知らない 3 被団協が受賞したことは知っているが、その活動内容はよく知らない 4 被団協が受賞したこともその活動内容(受賞理由)も知っている
問 10. 核兵器について、あなたのお考えは次のどれに該当しますか。(回答は1つ)	1 廃絶すべき 2 核保有はやむを得ない 3 核兵器のことを詳しく知らないので、わからない
問 11. 広島・長崎で核兵器が使われたのを最後に80年間核兵器は使用されていません。あなたは、今後10年の間に、再び核兵器が使用されると思いますか。(回答は1つ)	1 使用されると思う 2 使用されないと思う

第 11 回 諸外国における対日メディア世論調査

2025 年 2 月 15 日発行

発行 公益財団法人 新聞通信調査会

東京都千代田区内幸町 2-2-1

日本プレスセンタービル 1 階

電話 03-3593-1081

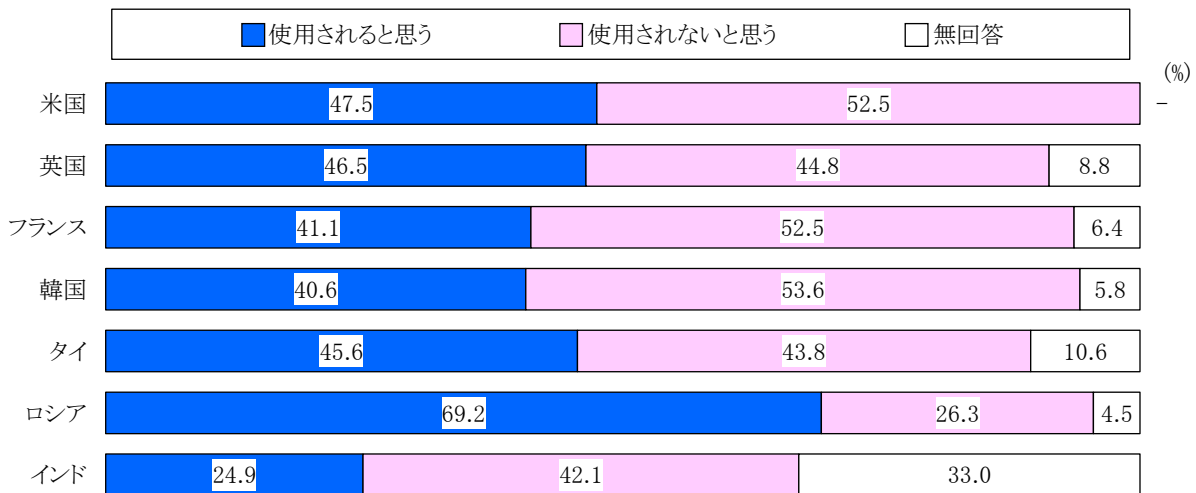


# 資料編

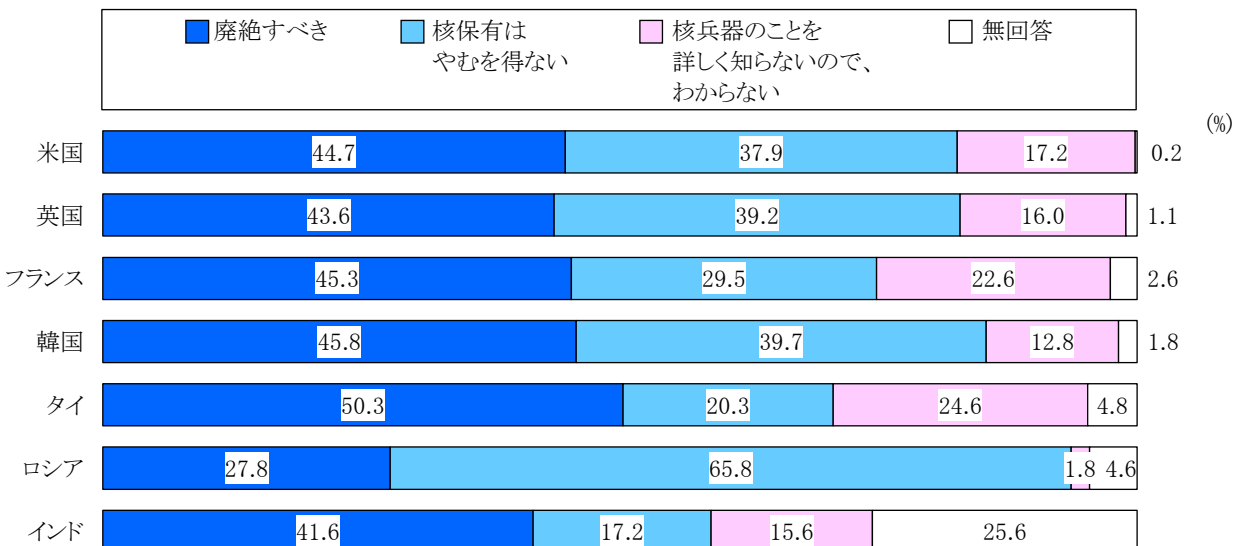
## ロシア、今後10年で「核使われる」が7割

- 核兵器は、広島・長崎で使われたのを最後に80年間使用されていないが、今後10年の間に、再び使用されると思うか尋ねたところ、ロシアでは「使用されると思う」が69.2%で「使用されないと思う」の26.3%を43%上回った。英国、タイでは「使用されると思う」「使用されないと思う」がともに40%台で意見が拮抗した。「使用されないと思う」は、韓国（53.6%）、米国（52.5%）、フランス（52.5%）で5割を上回った。
- 核兵器については、「廃絶すべき」がタイで50.3%と最も多く、韓国（45.8%）、フランス（45.3%）、米国（44.7%）、英国（43.6%）、インド（41.6%）の6カ国では、「核保有はやむを得ない」の割合を上回った。一方、ロシアでは「核保有はやむを得ない」が65.8%で「廃絶すべき」の27.8%を38%上回った。

図表1 今後10年の核兵器の使用（問11）



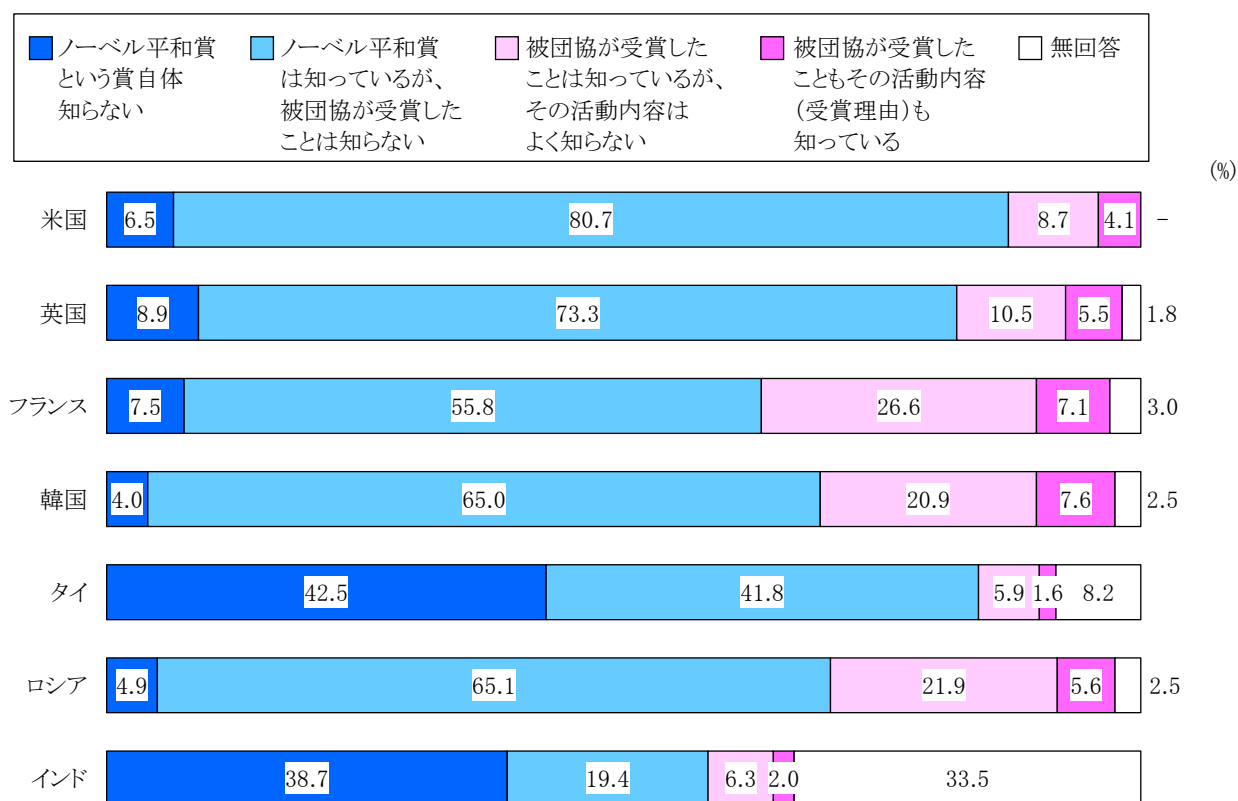
図表2 核兵器に対する意識（問10）



## 被団協のノーベル平和賞、米国で8割が「知らない」

- ・ 2024 年のノーベル平和賞が被団協（日本原水爆被害者団体協議会）に授与されたことを知っているか尋ねたところ、「ノーベル平和賞は知っているが、被団協が受賞したことは知らない」を挙げた人の割合が米国（80.7%）、英国（73.3%）、ロシア（65.1%）、韓国（65.0%）、フランス（55.8%）で半数以上だった。
- ・ タイとインドは「ノーベル平和賞という賞自体知らない」が 42.5%（タイ）、38.7%（インド）と最も多かった。次いで「ノーベル平和賞は知っているが、被団協が受賞したことは知らない」が 41.8%（タイ）、19.4%（インド）だった。
- ・ 「被団協が受賞したことは知っているが、その活動内容はよく知らない」は、フランス（26.6%）、ロシア（21.9%）、韓国（20.9%）で 20% 台だった。
- ・ 「被団協が受賞したこともその活動内容（受賞理由）も知っている」は、7カ国すべてで 10% に満たなかった。

図表3 2024年ノーベル平和賞の認知（問9）



# 世界の課題は「戦争終結」—6カ国で1位

- ・ 最近の世界情勢を踏まえて、世界各国で連携して取り組むべき課題は何か尋ねたところ、「戦争や地域紛争の終結・抑止」はインドを除く6カ国で1位だった。昨年も1位の米国、英国、韓国、タイに加えフランスも2位から1位に上昇。インドでは「国際テロ組織の撲滅」が1位（2つまで複数回答）。
- ・ 2位には米国で「国際テロ組織の撲滅」、英国、フランス、韓国は「地球環境問題」、タイ、ロシア、インドは「核兵器拡散の抑制」。
- ・ 昨年7月に新聞通信調査会が実施した「メディアに関する全国世論調査」では、1位「戦争や地域紛争の終結・抑止」、2位「地球環境問題」。

図表4 世界各国で連携して取り組むべき課題（問8）

	1位	2位	3位	4位	5位	6位
米国	戦争や地域紛争の終結・抑止 53.9(52.0/49.5) 1←1←1	国際テロ組織の撲滅 38.9(44.0/32.5) 2←2←4	地球環境問題 35.2(32.8/37.0) 3←3←3	核兵器拡散の抑制 27.2(32.3/39.6) 4←4←2	感染症拡大の抑制 27.0(21.8/23.6) 5←5←5	各国間の経済格差の縮小 16.0(15.3/17.1) 6←6←6
英国	戦争や地域紛争の終結・抑止 54.0(47.7/42.5) 1←1←2	地球環境問題 34.6(31.3/43.2) 2←2←1	国際テロ組織の撲滅 29.4(30.0/20.7) 3←3←5	感染症拡大の抑制 23.7(20.4/18.0) 4←5←6	核兵器拡散の抑制 20.8(22.2/26.9) 5←4←4	各国間の経済格差の縮小 20.0(17.5/27.7) 6←6←3
フランス	戦争や地域紛争の終結・抑止 55.7(41.8/34.4) 1←2←3	地球環境問題 40.5(35.4/42.1) 2←3←1	国際テロ組織の撲滅 33.7(44.8/34.8) 3←1←2	各国間の経済格差の縮小 23.2(27.0/26.1) 4←4←5	核兵器拡散の抑制 20.2(24.2/28.1) 5←5←4	感染症拡大の抑制 16.7(13.1/15.8) 6←6←6
韓国	戦争や地域紛争の終結・抑止 62.0(54.3/49.6) 1←1←2	地球環境問題 52.2(50.9/51.4) 2←2←1	各国間の経済格差の縮小 24.4(18.3/20.5) 3←4←4	核兵器拡散の抑制 20.8(35.2/39.6) 4←3←3	感染症拡大の抑制 16.0(14.3/17.6) 5←6←5	国際テロ組織の撲滅 9.8(16.9/11.6) 6←5←6
タイ	戦争や地域紛争の終結・抑止 41.2(56.2/42.0) 1←1←3	核兵器拡散の抑制 34.8(31.4/42.8) 2←3←2	各国間の経済格差の縮小 33.2(25.5/22.0) 3←4←5	感染症拡大の抑制 30.8(32.2/46.5) 4←2←1	地球環境問題 26.3(24.9/12.9) 5←5←6	国際テロ組織の撲滅 24.2(20.6/26.2) 6←6←4
ロシア	戦争や地域紛争の終結・抑止 57.0	核兵器拡散の抑制 34.2	国際テロ組織の撲滅 33.3	地球環境問題 21.1	感染症拡大の抑制 19.0	各国間の経済格差の縮小 17.5
インド	国際テロ組織の撲滅 31.9	核兵器拡散の抑制 29.9	感染症拡大の抑制 23.7	戦争や地域紛争の終結・抑止 22.4	各国間の経済格差の縮小 20.6	地球環境問題 16.0
日本	戦争や地域紛争の終結・抑止 74.4	地球環境問題 41.9	核兵器拡散の抑制 28.5	各国間の経済格差の縮小 9.4	国際テロ組織の撲滅 9.2	感染症拡大の抑制 6.5

※（ ）内は、左から第10回調査、第9回調査の結果

※各国の最下段は順位の変動を示す。左側から今回順位、第10回調査の順位、第9回調査の順位。

青字は順位が上昇、黒字は順位の変動なし、赤字は順位が低下。

※図表中の日本については「第17回メディアに関する全国世論調査（2024年）」より参考として表記。

「第17回メディアに関する全国世論調査（2024年）」は2024年7月に全国18歳以上の5,000人を対象に訪問留置法で行い2,906人（有効回収率58.1%）から回答を得た。以下同じ。

# 韓国の対日好感度、今回は微減

- ・ 日本に対する好感度はタイ 93.1%、米国 87.8%、英国 81.4%、フランス 80.0%。前回と比べると、英国は 10.3 ㊦、米国は 7.4 ㊦の上昇。ロシアは 69.0%、インドは 59.2%、韓国は過去最高の前回より 3.4 ㊦低下して 40.6%。
- ・ 各国の好感度が高い上位 3 位は、米国が日本、自国、英国、英国が日本、自国、タイ、フランスが自国、日本、英国、韓国が自国、米国、英国、タイが自国、日本、英国、ロシアが自国、中国、インド、インドが自国、米国、日本。
- ・ 前回からの変化を見ると、日本、中国、韓国に対する好感度は米国と英国で 5 ㊦以上の上昇。英国は、フランス、タイに対しても 5 ㊦以上の上昇。米国に対する好感度はフランスで 12.0 ㊦の低下。韓国では英国、フランス、タイに対する好感度が 5 ㊦以上の低下。

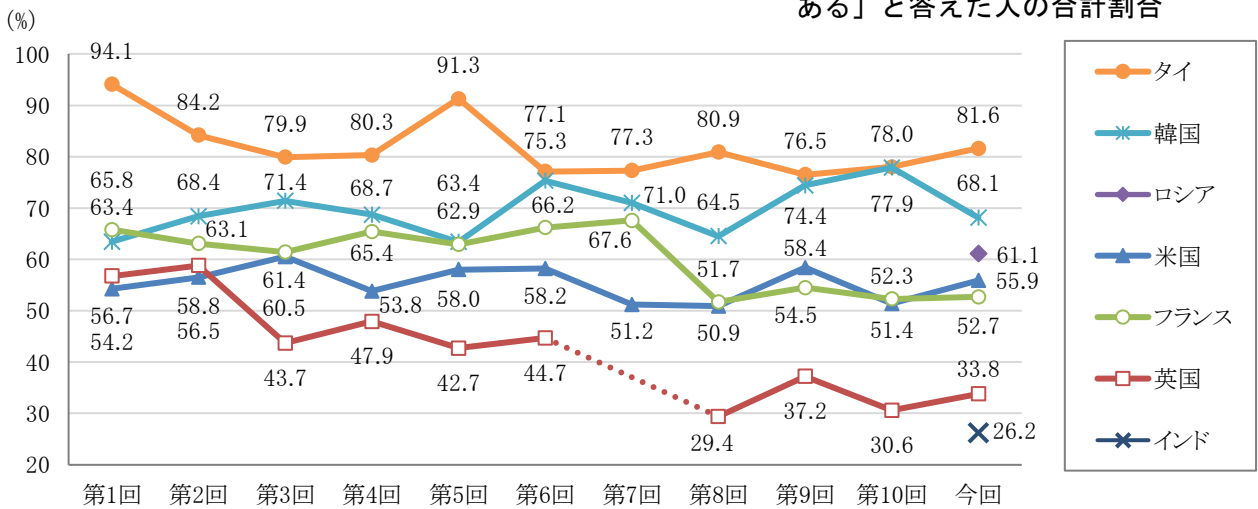
図表 5 各国間の好感度（問 2）－「好感が持てる」と答えた人の割合

		1位	2位	3位								(%)
		対象国										
【今回】	日本	米	英	仏	ロシア	中国	韓国	タイ	インド	ブラジル		
	米	87.8	86.9	85.8	78.5	13.5	28.5	53.1	72.2	54.8	65.1	
	英	81.4	61.4	79.4	72.1	15.4	38.6	45.8	73.4	66.4	68.1	
	仏	80.0	56.4	78.2	82.2	24.8	36.8	62.6	66.2	49.5	62.3	
	韓国	40.6	74.6	68.5	64.3	20.1	27.7	86.3	52.3	37.5	40.8	
	タイ	93.1	84.0	90.3	82.5	38.9	67.4	69.6	97.6	23.9	54.4	
	ロシア	69.0	38.3	38.3	47.9	93.7	88.5	64.1	70.2	75.0	74.3	
	インド	59.2	63.2	45.6	52.0	54.8	28.8	41.7	46.1	87.8	49.6	
	【第10回】		対象国									
			日本	米	英	仏	ロシア	中国	韓国	タイ		
実 施 国	米	80.4	87.3	83.8	76.7	12.7	20.5	46.2	71.2			
	英	71.1	60.8	77.1	67.0	12.4	24.5	40.5	61.5			
	仏	81.5	68.4	79.9	85.7	23.2	34.1	61.6	70.3			
	韓国	44.0	75.7	74.8	70.1	20.6	30.6	86.0	60.1			
	タイ	91.1	80.8	87.2	78.0	38.6	63.1	66.7	96.5			
【第9回】		対象国										
		日本	米	英	仏	ロシア	中国	韓国	タイ			
実 施 国	米	84.3	87.6	86.5	83.3	9.7	21.6	49.5	74.4			
	英	79.3	66.4	77.7	76.1	10.1	28.6	43.3	66.8			
	仏	76.8	67.7	75.8	83.3	19.7	27.3	60.2	64.9			
	中国	25.5	27.8	44.9	64.7	45.1	97.8	47.5	59.0			
	韓国	39.9	81.2	76.4	72.9	16.2	24.5	88.4	56.5			
	タイ	94.7	79.6	88.1	86.0	30.6	60.5	74.1	96.7			
【第8回】		対象国										
		日本	米	英	仏	*	中国	韓国	タイ			
実 施 国	米	79.0	*	83.9	79.6	*	31.0	47.0	64.7			
	英	73.3	66.1	*	65.8	*	29.2	40.3	61.9			
	仏	78.1	69.7	67.7	*	*	32.5	57.1	63.1			
	中国	26.3	29.0	46.7	62.5	*	*	43.6	54.7			
	韓国	31.2	81.0	75.1	70.1	*	23.0	*	58.4			
	タイ	93.4	85.6	91.5	86.8	*	57.4	72.9	*			
【第7回】		対象国										
		日本	米	英	仏	*	中国	韓国	タイ			
実 施 国	米	79.6	*	87.0	83.3	*	29.0	46.8	62.4			
	仏	77.8	52.2	68.6	*	*	31.0	60.8	63.7			
	中国	39.7	26.6	46.0	70.6	*	*	54.0	63.3			
	韓国	31.3	69.1	69.1	63.6	*	26.0	*	52.7			
	タイ	89.6	72.7	81.8	77.6	*	56.1	64.7	*			
【今回-第10回】		対象国										
		日本	米	英	仏	ロシア	中国	韓国	タイ			
実 施 国	米	7.4	-0.4	2.0	1.8	0.8	8.0	6.9	1.0			
	英	10.3	0.6	2.3	5.1	3.0	14.1	5.3	11.9			
	仏	-1.5	-12.0	-1.7	-3.5	1.6	2.7	1.0	-4.1			
	韓国	-3.4	-1.1	-6.3	-5.8	-0.5	-2.9	0.3	-7.8			
	タイ	2.0	3.2	3.1	4.5	0.3	4.3	2.9	1.1			
【第10回-第9回】		対象国										
		日本	米	英	仏	ロシア	中国	韓国	タイ			
実 施 国	米	-3.9	-0.3	-2.7	-6.6	3.0	-1.1	-3.3	-3.2			
	英	-8.2	-5.6	-0.6	-9.1	2.3	-4.1	-2.8	-5.3			
	仏	4.7	0.7	4.1	2.4	3.5	6.8	1.4	5.4			
	韓国	4.1	-5.5	-1.6	-2.8	4.4	6.1	-2.4	3.6			
	タイ	-3.6	1.2	-0.9	-8.0	8.0	2.6	-7.4	-0.2			
【第9回-第8回】		対象国										
		日本	米	英	仏	*	中国	韓国	タイ			
実 施 国	米	5.3	*	2.6	3.7	*	-9.4	2.5	9.7			
	英	6.0	0.3	*	10.3	*	-0.6	3.0	4.9			
	仏	-1.3	-2.0	8.1	*	*	-5.2	3.1	1.8			
	中国	-0.8	-1.2	-1.8	2.2	*	*	3.9	4.3			
	韓国	8.7	0.2	1.3	2.8	*	1.5	*	-1.9			
タイ	1.3	-6.0	-3.4	-0.8	*	3.1	1.2	*				
【第8回-第7回】		対象国										
		日本	米	英	仏	*	中国	韓国	タイ			
実 施 国	米	-0.6	*	-3.1	-3.7	*	2.0	0.2	2.3			
	英	*	*	*	*	*	*	*	*			
	仏	0.3	17.5	-0.9	*	*	1.5	-3.7	-0.6			
	中国	-13.4	2.4	0.7	-8.1	*	*	-10.4	-8.6			
	韓国	-0.1	11.9	6.0	6.5	*	-3.0	*	5.7			
タイ	3.8	12.9	9.7	9.2	*	1.3	8.2	*				
【第7回-第6回】		対象国										
		日本	米	英	仏	*	中国	韓国	タイ			
実 施 国	米	-3.2	*	1.9	4.2	*	-14.6	0.1	-2.7			
	仏	2.9	-5.8	-3.4	*	*	-7.3	8.3	5.6			
	中国	6.2	-19.5	-27.3	-16.5	*	*	9.0	-8.0			
	韓国	8.6	4.9	0.3	-4.8	*	-5.9	*	-6.3			
	タイ	-6.1	-14.1	-7.4	-6.2	*	-13.8	-8.8	*			

# 日本についての報道、「科学技術」に期待

- 日本のことが報道されると関心を持って見聞きするのは、タイで 81.6%と最も高く、次いで韓国で 68.1%。以下、ロシア 61.1%、米国 55.9%、フランス 52.7%、英国 33.8%、インド 26.2%。韓国では第9回、第10回調査と上昇を続けていたが、今回調査では10%低下した。
- 日本に関する報道で、メディアに期待する内容を挙げてもらった。1位はタイを除く6カ国で「科学技術」、タイは「観光情報」。2位には、米国、フランス、インドは「国際協力や平和維持活動」、英国は「生活様式や食文化」、韓国は「政治、経済、外交政策」、タイは「科学技術」、ロシアは「観光情報」が続いた。

図表6 日本が報道されると関心を持つか（問3）—「とても関心がある」と「やや関心がある」と答えた人の合計割合



図表7 メディアに期待する報道内容（問4）

	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位
米国	科学技術 81.9(81.3/84.0) 1←1←1	国際協力や平和維持活動 76.5(75.4/79.0) 2←2←2	政治、経済、外交政策 67.9(67.5/70.6) 3←3←3	生活様式や食文化 63.6(63.1/64.5) 4←4←5	歴史と文化 61.9(62.9/65.0) 5←5←4	観光情報 60.3(58.3/62.4) 6←6←6	ファッション、アニメ、音楽 50.0(46.3/49.3) 7←7←7
英国	科学技術 61.3(58.8/61.8) 1←1←1	生活様式や食文化 50.0(40.3/48.0) 2←4←4	歴史と文化 49.4(42.9/50.2) 3←3←3	国際協力や平和維持活動 48.5(43.2/51.7) 4←2←2	観光情報 44.2(34.5/39.6) 5←5←6	政治、経済、外交政策 41.2(33.9/42.1) 6←6←5	ファッション、アニメ、音楽 27.3(22.0/26.7) 7←7←7
フランス	科学技術 49.8(50.0/47.3) 1←1←1	国際協力や平和維持活動 39.6(37.5/41.2) 2←4←2	歴史と文化 38.7(39.0/38.5) 3←3←3	政治、経済、外交政策 36.0(36.5/38.4) 4←5←4	生活様式や食文化 35.6(41.0/38.1) 5←2←5	観光情報 29.2(32.1/32.5) 6←6←6	ファッション、アニメ、音楽 20.1(23.7/20.7) 7←7←7
韓国	科学技術 77.1(77.0/80.7) 1←1←1	政治、経済、外交政策 72.6(74.6/74.5) 2←2←2	国際協力や平和維持活動 69.2(70.2/73.9) 3←3←3	観光情報 56.0(56.1/59.5) 4←5←4	歴史と文化 54.9(58.8/58.7) 5←4←5	生活様式や食文化 49.0(50.7/52.6) 6←6←6	ファッション、アニメ、音楽 41.0(37.3/41.3) 7←7←7
タイ	観光情報 92.1(87.6/88.7) 1←1←1	科学技術 90.0(87.1/88.1) 2←2←2	国際協力や平和維持活動 83.9(78.9/81.1) 3←3←3	生活様式や食文化 81.9(73.5/79.9) 4←5←4	政治、経済、外交政策 75.8(74.0/77.1) 5←4←5	歴史と文化 75.8(67.0/70.1) 6←6←6	ファッション、アニメ、音楽 74.7(63.2/68.7) 7←7←7
ロシア	科学技術 84.5	観光情報 71.8	歴史と文化 68.4	生活様式や食文化 61.5	政治、経済、外交政策 61.2	国際協力や平和維持活動 59.3	ファッション、アニメ、音楽 50.2
インド	科学技術 50.3	国際協力や平和維持活動 49.3	観光情報 46.0	政治、経済、外交政策 44.7	生活様式や食文化 44.6	歴史と文化 43.7	ファッション、アニメ、音楽 43.4

※( )内は、左から第10回調査、第9回調査の結果

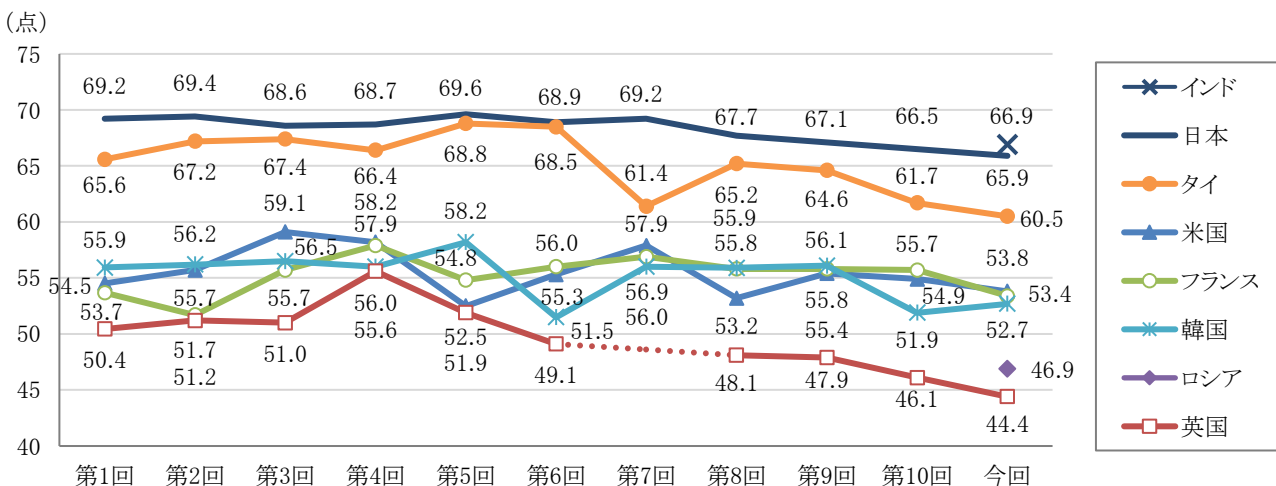
※各国の最下段は順位の変動を示す。左側から今回順位、第10回調査の順位、第9回調査の順位。

青字は順位が上昇、黒字は順位の変動なし、赤字は順位が低下。

# 新聞の情報信頼度—タイ、米国、フランス、英国で低下傾向

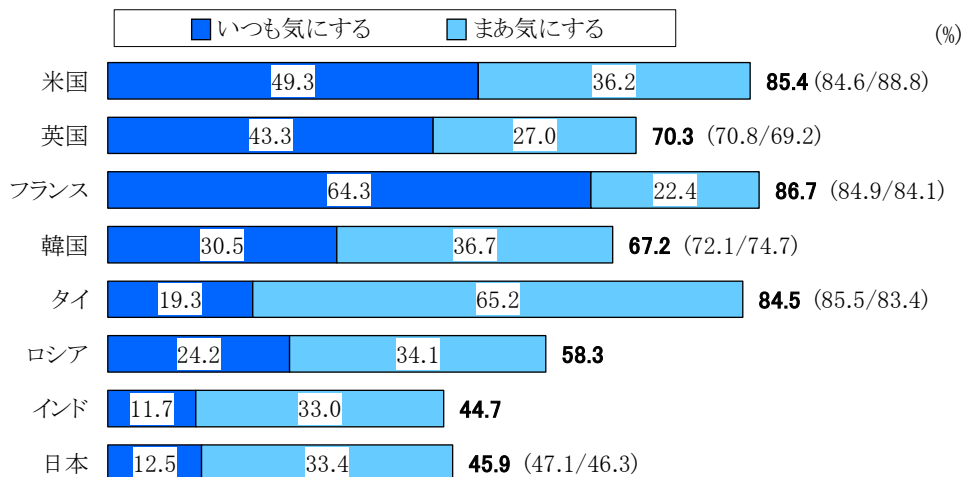
- ・新聞の情報をどの程度信頼しているかを、全面的に信頼している場合は100点、全く信頼をしていない場合は0点、普通の場合は50点として点数をつけてもらったところ、タイが60.5点で1.2点の低下、米国が53.8点で1.1点の低下、フランスが53.4点で2.3点の低下、韓国が52.7点で0.8点の上昇、英国が44.4点で1.7点の低下だった。今回新たに調査したインドは66.9点、ロシアは46.9点だった。昨年7月に新聞通信調査会が実施した「メディアに関する全国世論調査」では、新聞の情報信頼度は65.9点だった。
- ・インターネットのニュースを見る時に、ニュースの出所を気にするか尋ねたところ、「気にする」（「いつも気にする」と「まあ気にする」の合計）と答えた人は、フランスが86.7%で最も多く、次いで米国で85.4%、タイで84.5%。以下、英国（70.3%）、韓国（67.2%）、ロシア（58.3%）だった。そのうち、「いつも気にする」のはフランスが64.3%で最も多く、次いで米国が49.3%、英国が43.3%。インドでは「気にする」の割合が44.7%にとどまった。昨年7月に新聞通信調査会が実施した「メディアに関する全国世論調査」では、「気にする」と答えた人が45.9%、そのうち「いつも気にする」のは12.5%だった。

図表8 新聞の情報信頼度（問7）



注：米国は0点～10点で質問したので、回答の数値を10倍した。

図表9 ネットニュースを見る時に、ニュースの出所を気にするか（問6）

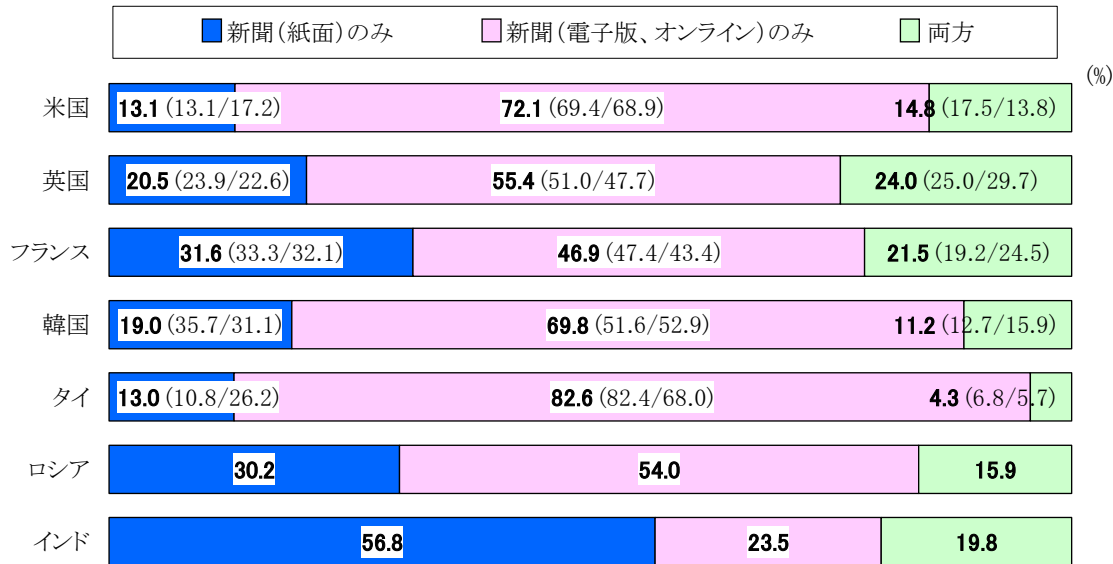


※棒グラフ右外の数字は「いつも気にする」と「まあ気にする」の合計値  
（ ）内は、左から第10回調査、第9回調査の結果

# 新聞は「電子版で」引き続き増加

- ・ 新聞を紙、電子版のどちらで読むかについては、インドを除く 6 カ国で「電子版のみ」が「紙のみ」や「両方」よりも多かった。インドは、「紙のみ」が 56.8%と過半数を占めた。
- ・ ニュース視聴の利用媒体は、米国、韓国はインターネットのニュースサイト、英国、フランス、インドはテレビ、タイ、ロシアは SNS (Facebook、X など) が 1 位（複数回答）。米国、韓国、タイ、ロシアはテレビ、英国、フランスは新聞、インドは SNS が 2 位。

図表 10 新聞を紙、電子版のどちらで読むか（問 5）



※（ ）内は、左から第 10 回調査、第 9 回調査の結果

図表 11 ニュース視聴の利用媒体(複数回答)（問 5）

	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位	6 位
米国	インターネットのニュースサイト 61.8 (60.0/63.3)	テレビ 59.6 (61.8/61.9)	SNS (Facebook、X など) 56.2 (50.8/51.0)	新聞 47.2 (48.5/49.7)	ラジオ 30.0 (31.7/33.6)	雑誌 8.2 (9.3/10.8)
英国	テレビ 56.5 (62.1/62.6)	新聞 52.0 (53.1/56.9)	SNS (Facebook、X など) 49.5 (47.3/49.0)	ラジオ 38.9 (41.9/49.9)	インターネットのニュースサイト 33.7 (36.9/35.4)	雑誌 8.7 (11.2/11.3)
フランス	テレビ 65.7 (69.6/75.9)	新聞 59.9 (63.9/67.2)	ラジオ 58.7 (61.6/67.6)	SNS (Facebook、X など) 46.4 (46.3/43.7)	インターネットのニュースサイト 46.4 (46.0/45.0)	雑誌 24.1 (24.8/31.1)
韓国	インターネットのニュースサイト 58.4 (57.4/59.5)	テレビ 55.7 (62.2/65.8)	SNS (Facebook、X など) 31.1 (31.6/32.6)	新聞 20.5 (25.1/28.8)	ラジオ 9.6 (13.8/12.5)	雑誌 2.2 (2.3/4.2)
タイ	SNS (Facebook、X など) 90.8 (92.3/94.3)	テレビ 66.1 (59.1/85.3)	インターネットのニュースサイト 61.2 (57.5/53.2)	新聞 16.1 (7.4/12.2)	ラジオ 6.8 (3.5/8.8)	雑誌 2.2 (1.1/1.0)
ロシア	SNS (Facebook、X など) 59.2	テレビ 44.1	インターネットのニュースサイト 43.4	新聞 12.6	ラジオ 10.7	雑誌 3.6
インド	テレビ 68.3	SNS (Facebook、X など) 42.5	新聞 37.5	インターネットのニュースサイト 10.1	雑誌 6.5	ラジオ 3.4

※（ ）内は、左から第 10 回調査、第 9 回調査の結果

# 知っている日本人、米国「オノ・ヨーコ」、英国、フランス「昭和天皇」、ロシア「宮崎駿」、韓国「安倍晋三」、タイ「金城武」、インド「石破茂」が1位

- ・ 知っている日本人の名前を1人挙げてもらったところ、米国は「オノ・ヨーコ」、英国、フランスは「昭和天皇」、ロシアは「宮崎駿」、韓国は「安倍晋三」、タイは「金城武」、インドは「石破茂」が1位。
- ・ 2位には「昭和天皇」（米国）、「オノ・ヨーコ」（英国）、「宮崎駿」（フランス）、「村上春樹」（ロシア）、「伊藤博文」（韓国）、「深田恭子」（タイ）、「安倍晋三」「宮崎駿」（インド）。

図表 12 知っている日本人（各国上位 10 位）（問 1） ※各欄右端の数字はその人名を挙げた人の数

米国（回答者567人）		英国（回答者308人）		フランス（回答者287人）		ロシア（回答者256人）	
オノ・ヨーコ	135	昭和天皇	133	昭和天皇	73	宮崎駿	43
昭和天皇	67	オノ・ヨーコ	29	宮崎駿	60	村上春樹	30
大谷翔平	52	安倍晋三	17	鳥山明	24	黒澤明	22
安倍晋三	44	鳥山明	8	安倍晋三	18	オノ・ヨーコ	18
イチロー	26	宮崎駿	7	尾田栄一郎	13	小島秀夫	16
宮崎駿	24	黒澤明	7	黒澤明	7	安倍晋三	15
渡辺謙	20	イッセイミヤケ	6	岸本斉史	6	昭和天皇	8
鳥山明	16	三苦薫	6	北斎	6	大山倍達	7
黒澤明	13	村上春樹	6	オノ・ヨーコ	6	北野武	7
真田広之	10	角田裕毅	5	KENZO	5	織田信長	6
大坂なおみ	10	古橋亨梧	5				
		草間彌生	5				

韓国（回答者575人）		タイ（回答者436人）		インド（回答者35人）	
安倍晋三	164	金城武	34	石破茂	12
伊藤博文	96	深田恭子	27	安倍晋三	7
豊臣秀吉	53	安倍晋三	23	宮崎駿	7
岸田文雄	35	ドラえもん(架空)	18	谷山誠	3
大谷翔平	25	藤井風	18	岸田文雄	2
木村拓哉	18	hide	14	坂本龍馬	1
宮崎駿	11	蒼井そら	13	山崎賢人	1
浅田真央	9	山崎賢人	12	桃田賢斗	1
石破茂	9	北野武	11	本庶佑	1
小泉純一郎	9	渡辺謙	10		
		三浦孝太	10		
		三苦薫	10		

（参考）知っている日本人（第1回調査、上位5位）

米国（回答者164人）		英国（回答者157人）		フランス（回答者224人）		韓国（回答者574人）		タイ（回答者563人）	
昭和天皇	62	昭和天皇	50	昭和天皇	52	安倍晋三	278	安倍晋三	92
イチロー	20	オノ・ヨーコ	16	宮崎駿	9	伊藤博文	68	金城武	32
明仁（今上）天皇	18	安倍晋三	15	安倍晋三	8	豊臣秀吉	37	蒼井そら	32
オノ・ヨーコ	13	天皇	12	黒澤明	8	小泉純一郎	13	中田英寿	22
東条英機	8	東条英機	7	鳥山明	7	村上春樹	12	深田恭子	18